

若松アートステーションプロジェクト

自治体名：北九州市
連携企業・団体名：ワカマツグラシパートナーズ、CCA北九州

3つの特徴

1. 商店街の再生
2. 現代アート拠点
3. DIYワークショップ

プロジェクト概要

中心市街地の空洞化は多くの地方都市を悩ませる課題であり、北九州市内では交通が不便な若松でその傾向が顕著である。一方で若松には世界的現代アート拠点があり若手有望アーティストの育成が行われている。本事業は、こうした地域のソフト資源と空間資源の組み合わせにより中心市街地に新しいにぎわいを創出すること目指し、老朽化した空きビルを若手アーティストの活動拠点へと再生しようとするものである。

実施日	実施内容	実施場所(住所)	参加学生数
H30. 4月	プラン検討、打ち合わせ	小倉キャンバス(北九州市小倉北区大門) NAKAGAWA Spoil(北九州市若松区中川町)	6名
5~6月	モックアップ制作WS	空きビル (北九州市若松区本町)	9名
7~10月	展示プレゼンテーション	空きビル (北九州市若松区本町)	6名
11~12月	仕上げ検討	小倉キャンバス (北九州市小倉北区大門)	6名



実測調査の様子



関係者へのプラン説明の様子



学生による建設WS



IFの部分モックアップ

平成30年度の成果

今後の方向性

30年度は空きビルの改修計画案の作成と、計画案に基づいたモックアップの建設を行った。まず協働団体へのヒアリングと空きビルの実測調査を行った上で、複数の改修プランを作成しプレゼンテーションを実施、さらに複数回の打ち合わせを経て計画案をまとめた。その後、改修案の顔となる1階カフェギャラリー部分のモックアップを学生ワークショップによって作成し、地域企業や関連団体等に展示プレゼンテーションを行なった。

今後は施工業者による改修工事が行われる予定である。工事完了後のイベント運営等への参加によって施設活用をサポートし、地域のにぎわいづくりにつなげることが今後の課題である。